

第8回ボルダー神奈川カップ競技説明

▶ 競技方式

エキスパートは予選、決勝の2ラウンドで行います。

予選はコンテスト方式、決勝はワールドカップ決勝方式で行います。

その他のカテゴリーはコンテスト方式の1ラウンドで行います。

※ 高校生女子と中学生女子は参加人数が少ないため、一つのカテゴリーとして扱います。

(予選=コンテスト方式)

- ・ 各カテゴリーで7課題ずつあります。各課題について最大5アテンプトまでできます。
- ・ デモンストレーションなしのフラッシュで行います。
- ・ カテゴリーごとに色指定されています(当日発表)。
- ・ 課題にアテンプトする順番は選手が自由に選ぶことができます。
- ・ アテンプト前にスコアカードをジャッジに渡してください。
- ・ 登れなかったとき、次の選手が待っていない場合を除き、その課題で続けてアテンプトすることはできません。並びなおしてください。
- ・ 制限時間が過ぎると登っている途中でも終了になります。開始と終了1分前と終了時にブザーでお知らせします。

(決勝=ワールドカップ決勝方式)

- ・ 決勝進出者は、エキスパート男子及びジュニア男子は6名、エキスパート女子及びジュニア女子は5名を予定しています。
- ・ 全部で3課題あります。
- ・ 事前に1課題あたり2分間のオブザベーションを行います。
- ・ 競技順は予選の成績の逆順とします。
- ・ 競技時間は4分間です。制限時間が過ぎると登っている途中でも終了になります。終了1分前と終了時にブザーでお知らせします。

(共通のルール)

- ・ スタートは4点支持を行ってください。スターティングホールド以外のホールドを使用するとアテンプトが1回加算されます。
- ・ 自分のカテゴリー以外のホールドを使用するとアテンプト終了になります。
- ・ クリーニングは主催者側が用意したブラシで選手自身が行ってください。
- ・ 成績への抗議は、予選は仮成績発表後5分以内に主任審判に申し出てください。

(順位の付け方)

- 1 完登したボルダー数の降順(多い方が上位)
- 2 獲得したゾーンポイント数の降順(多い方が上位)
- 3 完登に要したアテンプト数の合計の昇順(少ない方が上位)
- 4 ゾーンポイント獲得に要したアテンプト数の合計の昇順(少ない方が上位)
- 5 (決勝の場合) 予選ラウンドへのカウントバック
- 6 (決勝で同着が1位~3位に生じた場合) 決勝での成績を以下の順で比較する
最初のアテンプトでの完登数、2回目のアテンプトでの完登数、・・・